

<平成 30 年 1 月 25 日発表>

西鉄初の本格的な観光列車 ネーミング・車両概要・デザイン決定！

- 西日本鉄道(株)では、平成 31 年春に運行開始予定の観光列車について、ネーミング・車両概要・デザイン等を決定しましたので、お知らせします。
- 当社では、地域の人々やクリエイターと一体となって、沿線の素晴らしいものや知られざる魅力を発掘し、観光列車を通じて発信していくことで、沿線地域の活性化および価値向上に取り組んでまいります。
- ネーミングは、観光列車の特徴を伝えるため、『THE RAIL KITCHEN CHIKUGO』とし、ロゴは、柳川の川下りや久留米の特産品、大牟田の産業遺産など、沿線を代表する豊かな資源や魅力を表現しています。
- 車両は、既存の 6050 形を、3 両編成、座席数 52 席に大規模改造します。2 両目には“窯”を中心とした大型キッチンを設置し、筑後地方を中心とした沿線地域の新鮮な食材を使用した、できたての温かく美味しい料理を提供することで、お客さまに沿線を味わっていただきます。
- 車両デザインは、トランジットジェネラルオフィスの全体プロデュースのもと、多数の受賞歴を持つ福岡南央子氏^{なおこ}やモダンかつカジュアルなアプローチで流行に敏感な世代から支持されるランドスケーププロダクト、福岡出身の世界的にも有名なアーティストである鹿児島睦氏^{まこと}などの力を借りて、観光列車の特徴や沿線の魅力を表現します。外装はキッチンクロスをイメージした赤いチェックで、料理を楽しんでいただける列車であることや清潔感を表現し、内装は八女の竹を使用した竹細工や城島瓦といった沿線地域の伝統ある工芸品等とクリエイターの感性を掛け合わせ、沿線の魅力を感じることのできる空間を演出します。
- なお、観光列車で提供する料理内容や、ダイヤの概要は平成 30 年 4 月に発表予定です。

■ ネーミング・ロゴデザイン

【ネーミング】

THE RAIL KITCHEN CHIKUGO

筑後地方を中心とした沿線地域の新鮮な食材を列車内のキッチンで調理して提供する、“料理”にこだわった観光列車であることを表現しました。

【ロゴデザイン】

多数の受賞歴を持ち、業界でも注目されている福岡南央子氏がデザインしたもので、柳川の川下りや久留米の特産品、大牟田の産業遺産など、沿線を代表する豊かな資源や魅力をアイコンとして表しています。

『THE RAIL KITCHEN CHIKUGO』の中にアイコンを組み込んだタイプと、アイコンを凝縮し、名称と並べたタイプの 2 種類のロゴを、登場シーンごとに使い分けます。



THE RAIL KITCHEN CHIKUGO



いちご(福岡県)



お酒(久留米)



川下り(柳川)



葡萄(久留米)



産業遺産(大牟田)



小麦

■ 車両の概要

【外装デザイン】

前述の福岡南央子氏がデザインし、キッチンクロスをイメージした赤いチェックで、料理を楽しんでいただける列車であることや清潔感を表現します。沿線の緑豊かな風景に映えるデザインで、いつもご利用いただいている西鉄電車に新たな彩りを添えます。



【車 両 型 式】	6050 形
【編 成 数】	3 両編成
【座 席 数】	52 席
【車 両 投 資 額】	約 5 億円

【内装デザイン】

デザインはモダンかつカジュアルなアプローチで流行に敏感な世代から支持される有限会社ランドスケーププロダクツが手がけます。

●レイアウト

1・3 両目は当社初のトイレ付き車両

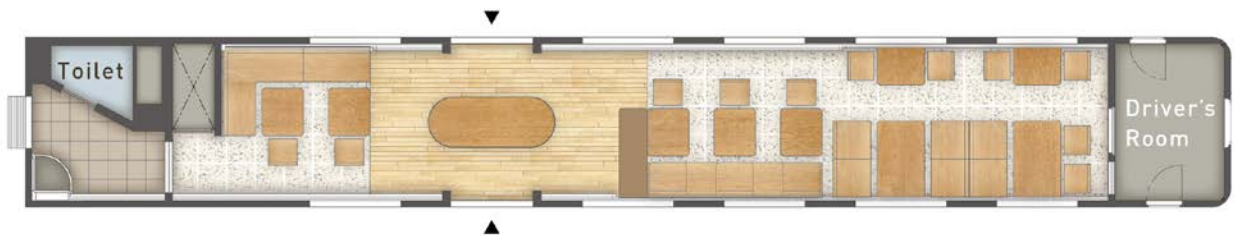
<1 両目(座席数:22 席) ※ 大牟田側>



<2 両目(座席数:8 席) ※ キッチン併設>



<3 両目(座席数:22 席) ※ 天神側>



●キッチンイメージ

“窯”を中心とした大型キッチンを列車内に設置。筑後地方を中心とした沿線地域の新鮮な食材を列車内で調理し、できたての温かく美味しい料理を提供します。



●車内イメージ

筑後の「ものづくり」の魅力を発信するため、八女の竹を使用した竹細工や城島瓦といった沿線地域の伝統ある工芸品等とクリエイターの感性を掛け合わせ、沿線の新しい魅力を感じることのできる空間を演出します。



バラスト(線路に敷く砂利)を加工した人造大理石

<天井:竹細工>

手編みの竹細工により、暖かみのある空間を演出

- ・八女の竹を使用
- ・久留米の井上籃胎漆器株式会社の職人が、手編みで制作
- ・300年の歴史を誇る八女竹細工の竹編みの技法と明治20年ごろから続く久留米籃胎漆器の技術をあわせることによって車両への搭載を実現
- ・八女竹細工、久留米籃胎漆器は福岡県知事指定特産民芸品



<壁面:城島瓦>

いぶし銀の特徴を活かしながら色や形で新しい魅力を表現

- ・400年の歴史を誇る
- ・城島瓦協同組合の渋田瓦工場が制作し、城島瓦のいぶし銀(※)を活かしながら、多様な色を使用するのが特徴
- ※深みのある美しい光沢を帯びた銀色
- ・城島鬼瓦は福岡県知事指定特産民芸品



<家具:大川家具>

木の暖かみを活かし、家のように居心地の良い空間を演出

- ・480年以上の歴史を誇る
- ・大川市の家具生産高は日本一
- ・繊細な職人の技が織り成す、美しく丁寧に作り上げられたこだわりの家具



＜壁面:TINパネル＞

筑後川をイメージしたデザインで沿線の豊かな自然を表現

- ・デザインは、福岡出身で、世界的にも有名なアーティスト、鹿児島睦氏が手がける
- ・TIN(ブリキ)のパネルに凹凸をつけてデザインを表現



＜床:バラストを加工した人造大理石＞

線路に用いる素材を活用し、鉄道らしさを演出

- ・列車の運行に必要な不可欠なバラスト(線路に敷く砂利)を加工したもの



■ クリエイティブメンバー

＜内装デザイン＞ (有)ランドスケーププロダクツ

1997年に中原慎一郎を中心に結成。1940～60年代のモダンデザインをルーツに家具の製造販売をスタートし、2000年には渋谷区神宮前にて「Playmountain」をオープン(現在は渋谷区千駄ヶ谷にて運営)。同年法人化するとともに、その後は住宅・オフィス・店舗の内装デザイン、直営店展開、生産卸、エキシビションやイベントのプロデュース/ディレクション、編集/出版、ブランディングと活動範囲を広げる。2017年2月には、サンフランシスコに「Playmountain EAST」をオープン。ディレクションなども手がける。

《コメント》

今回のプロジェクトでは、列車という安全性が第一である以上、多くの制約と向き合いました。諸条件を前向きに捉えつつ、お客様の日々の営みの延長上にこの列車内で過ごす時間があることを念頭に、どこか人の家に招かれたような温かさを常に感じてほしい。こうした想いをこの列車に投影しました。また地元のクリエイター等と協業することで、地域に根ざしたレイヤーを車両に織り交ぜることができました。西日本鉄道と一緒できたことは、同じく九州に所縁がある我々にとって身が引き締まる思いであります。この電車がたくさんの方々の笑顔運びますように。

＜外装・ロゴデザイン＞ グラフィックデザイナー 福岡 南央子氏

1976年兵庫県生まれ。2010年 woolen(株式会社ウーレン)設立。
2008年 JAGDA 新人賞・パッケージ賞、東京 ADC 賞、
2009年日本パッケージデザイン大賞金賞受賞、2011年 TDC 賞ノミネート。
2017年 TOPAWARDS ASIA APRIL/AUGUST 受賞。
2014年 woolen press スタート。ブランディング、パッケージや書籍などグラフィックデザインを基軸に制作を行っている

《コメント》

本プロジェクトに参加する際に伺った、『THE RAIL KITCHEN CHIKUGO』というこの列車の名前が、特徴を言い表していたので、しっかり見てもらえるよう、名前が中心となるよう考えました。筑後のあれこれを文字の中に詰め込んで、ロゴなのにマークであり、ビジュアルでもあります。そのロゴから、赤のチェックがキッチンクロスのように広がり、この列車の旅が、他ならぬ台所と食卓の旅だと伝えます。地元の方と旅人が一緒になって筑後を楽しむ列車の出発が楽しみです。



＜TIN パネルデザイン＞ アーティスト 鹿児島 睦氏

福岡市生まれ。

陶芸を中心に国内外でのデザインワーク、アートプロジェクトへの参加など活動多数。

2017 年個展：台北＜小器＞、LA＜chariots on fire＞、東京＜doinel＞＜森岡書店＞、福岡＜太宰府天満宮／三菱地所アルティウム＞他、企画展参加など。

2017 年コラボレーション：英国＜John Julian＞＜Donna Wilson＞、フィンランド＜LAPUAN KANKURIT＞、スウェーデン＜keramic studion＞、東京＜ほぼ日＞、神戸＜ファミリア＞、伊勢丹新宿＜Meets (イイホシ ユミコ)＞、鎌倉＜Romi - Unie Confiture＞、京都＜一澤信三郎帆布＞、他。



photo by Akihide Mishima

《コメント》

幼い頃から通学や通勤で慣れ親しんだ西鉄天神大牟田線には、色々な思い出やストーリーがたくさんありますが、なかなか大牟田まで利用することがなく、今も憧れの地になっています。

今回のプロジェクトをきっかけに、家族や友人たちと筑後川を車窓からのんびりと眺めながらショートトリップを楽しめたらと思っています。

【特 設 サイト】 本日(平成 30 年 1 月 25 日)より観光列車特設サイトを公開し、観光列車に関する情報を順次更新するほか、沿線地域の魅力ある資源などについても発信していきます。
(URL：<http://www.railkitchen.jp>)

【主なスケジュール予定】

平成 30 年 4 月：料理内容およびダイヤ概要発表
平成 30 年 9 月：運行および予約開始日、制服の発表
平成 31 年 2 月：車両お披露目
平成 31 年 春：運行開始

（参考）全体プロデュース

＜全体プロデュース＞ (株)トランジットジェネラルオフィス

代表取締役 中村貞裕。

2001 年にトランジットジェネラルオフィスを設立。アパレルブランドとのカフェやレストランなど約 90 店舗を運営。台湾発世界一のかき氷「ICE MONSTER」、NY で行列の大人気ペイストリーショップ「DOMINIQUE ANSEL BAKERY」や、モダン・タイ・レストラン「Longrain」など海外の人気ブランドを日本に上陸させている。また、博多発祥、うどん居酒屋「ニ○加屋長介(にわかやちようすけ)」を東京・中目黒に出店。その他、シェアオフィスやホテル、鉄道などのプロデュースを行い「カルチャーエンジニアリングカンパニー」としてプロデュース、オペレーション、イベント、不動産、のグループシナジーにより、日本になかった新しいカルチャーや話題のスポットを生み出している。

本件に関するお問い合わせは、西鉄お客さまセンター(Tel:0570-00-1010)まで